

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例 (2014年12月)

【適正使用】

Q：家族の者が、睡眠薬として、A病院からロヒプノールTMとマイスリーTM、B病院からゾルピデムが処方され、別々の薬局でもらっている（他にも循環器系薬などを服用）。薬を整理して減らしたいがどうしたら良いか？（県民）

A：マイスリーTMとゾルピデムは、名称は異なるが、同一成分である。まず、薬の説明書等を薬局に持っていき、相互作用や重複等を確認してもらう。今後はお薬手帳を活用し、医療機関に受診する時には確認してもらう。

Q：インフルエンザと診断され、イナビルTMを吸入した。解熱剤（名称不明）を処方され、その日の夜だけ服用したが、翌日から体中が痛く、以前に歯医者から処方されたロキソニンTMを2日間ほど服用したが治らない。夫に処方されたロキソニンTMも服用して良いか？（県民）

A：以前に処方されて残っている薬や他人の薬は服用しない。受診して、自分に処方された薬を服用する。以前に処方された薬や他人の薬を服用して起きた副作用に対して、医薬品副作用被害救済制度は適用されない。

Q：歯茎が腫れて、歯科で抗生物質の軟膏を一日おきに塗布している。歯科処置のない日は、家に残っている口内炎の薬（副腎皮質ステロイド）を患部につけても良いか？（県民）

A：細菌感染症に副腎皮質ステロイドを使用すると悪化することがあるので、自分勝手に使用しない。家庭での処置については、医師の指示を仰ぐ。

【副作用防止】

Q：デノタスチュアブルTM配合錠は、骨粗鬆症治療時の薬だが、顎骨壊死の副作用はあるか？（歯科医師）

A：デノタスチュアブルTM配合錠（成分：沈降炭酸カルシウム、コレカルシフェロール、炭酸マグネシウム）は、骨粗鬆症治療薬のLANKLE阻害薬による低カルシウム血症の治療及び予防の薬で、顎骨壊死の副作用はない。しかし、併用されるLANKLE阻害薬（プラリアTMやランマークTM）に顎骨壊死の副作用がある。

【相互作用防止】

Q：アレビアチン™、重質酸化マグネシウム「ホエイ」、エバミール™、ビタメジン™配合カプセル B25、ロキペイン™、つくしAM™散、フォリアミン™を服用中。オゼックス™またはアジスロマイシン™、ボルタレン™との相互作用は？（歯科医師）

A：①重質酸化マグネシウム「ホエイ」やつくしAM™散に含有のマグネシウム、カルシウム、アルミニウムがオゼックス™とキレートを形成し、オゼックス™の吸収が低下するので、同時服用を避ける。

②重質酸化マグネシウム「ホエイ」やつくしAM™散に含有のマグネシウム、アルミニウムとアジスロマイシンの同時服用は、アジスロマイシンの血中濃度を低下させるので（機序不明）、注意する。一般に、アジスロマイシンの服用2時間前あるいは2時間後にずらして服用することで、相互作用を避けることができる。

③ロキペイン™とボルタレン™は非ステロイド性鎮痛薬（NSAIDs）なので、作用が重複する。

Q：メトレート™、プレドニゾロン、オメプラール™、フォリアミン™、ムコスタ™、メジコン™を服用中。フロモックス™、ロキソニン™との相互作用は？（歯科医師）

A：メトレート™とロキソニン™の併用で、メトレート™の副作用（骨髄抑制、消化管障害等）増強の可能性があるので注意する。また、消化性潰瘍治療中であれば、症状が悪化するため、ロキソニン™（NSAIDs）は投与禁忌である。

【妊婦】

Q：患者がアキュテイン™（ACCUTANE）というニキビの薬を個人輸入して飲んでいた。妊婦への使用は問題ないか？（医師）

A：妊娠中の女性が服用した場合に、胎児の催奇形性のおそれがある。米国食品医薬品局（FDA）は、インターネットや個人輸入により入手することのないように注意喚起し、厚労省もホームページの「個人輸入において注意すべき医薬品等について」の中で注意喚起している。

（FDAの一般消費者向け情報）

- ・妊娠している人、妊娠予定のある人、または服用期間中に妊娠する可能性のある人、授乳中の人には服用しない
- ・服用期間中とその前後1ヶ月間は妊娠しない、性行為をする場合は避妊する
- ・服用中は献血しない 等